

## 第一貨物 東北―九州間の輸送効率化

# トラック相互使用

第一貨物（山形市、武藤幸規社長）は、九州を拠点とする久留米運送（福岡県久留米市）と、事業用トラックを相互使用することで東北―九州間輸送を効率化する事業を始めた。山形

から九州への荷物の場合、従来は第一貨物が大阪まで運び、荷物を久留米運送のトラックに積み替えて九州に運んでいたが、第一貨物のトラックをそのまま久留米運送のドライバー

が運転して運ぶ仕組みを構築した。

最大で半日程度、輸送時間を短縮できる上、積み替えが不要になることでドライバーや荷物への負担も小さくなる。9月30日に第一貨物天童支店、久留米運送大分支店をそれぞれ出発したトラックから開始。10月1日午前には大阪府内のターミナルで車両を交換した。

当面は1日1便の運行で、状況を確認しながら1日2便への増便を計画している。

両社は、トナミ運輸（富山県高岡市）を加えた3社で合併による「ジャパン・トランス・ライン」（東京都）を設立し、関東―関西間の輸送効率化を進めてきた。その取り組みの中から今回の事業が生まれた。